

事業シート(令和3年度決算)

事業名	91200 外国青年(外国語指導助手)招致事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	2	心身の健康と文化、教育で心豊かな暮らしを実現する	市長公約	・児童・生徒の一人ひとりの「個性・能力・創造性」を育むとともに、国際化に対応できる教育、地域や地場産業を学び・体験する教育(郷土への誇り・愛着の醸成)などを充実します。
			款	9	教育費		まちづくり戦略	(3)	夢と誇りとやさしさにあふれる人の育み		
			項	1	教育総務費		根拠計画		教育基本振興計画、過疎地域持続的発展計画		
			目	2	事務局費						
担当課	教育委員会事務局 学校教育課	内線	2358								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・児童生徒が生きた英語に接し、コミュニケーションする機会を得る中で、英語を中心とする異文化理解の資質を養うとともに、郷土を愛し郷土の文化を尊重する態度を育てる。	概要	・外国語指導助手(ALT)を招致し、小中学校における次のような英語指導等を進める。 ・小学校の英語活動の時間に、担任とともに簡単なコミュニケーション活動を行う。 ・中学校の英語の時間に英語教師とともに英語指導をする。 ・イングリッシュシャワーや英語スピーチコンテストなどに参加する児童生徒の支援をする。
----	--	----	--

総合計画等 主な指標	R2実績	R3実績	R6目標

2.事業の実施結果等(Do)

		R2		R3			(千円)
歳出事業費 (職員人件費を除く)		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		13,913	9,139	15,308	15,067	13,402	4,263
特定財源	国費( )						
	県費( )						
	その他(外国青年招致事業雑入・ALT途中退職者傷害保険料負担金)	1,320	1,001	1,320	1,320	752	△ 249
一般財源		12,593	8,138	13,988	13,747	12,650	4,512
個票枝番	主な事業内容						
	外国青年(外国語指導助手)招致事業費	13,913	9,139	15,308	15,067	13,402	4,263

4.令和4年度予算編成(Action)

		R4予算		実施計画額		13,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)			
15,764	15,690	15,690	382			
1,320	1,320	1,320	0			
14,444	14,370	14,370	382			
査定額						
15,690						

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和2年度事業実績・評価等(Check) R3.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国語指導助手(ALT)を市内全小学校全学級(3~6年)で全時間、全中学校全学級で週2時間概ね派遣</li> <li>・消防署で行われる外国人を対象とした災害や病気を想定した訓練に参加</li> <li>・休校中に、小中学校の教科書の音読を録音して、ヒットネットTVで放送</li> <li>・コロナ禍のため、小中学生を対象とした英語のイベントの開催や、図書館での読み聞かせを中止</li> <li>・観光パンフレットや緊急時用英語版アナウンスの作成も同様に中止</li> </ul>
評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校高学年における英語の教科教化に合わせ、特に小学校でのALTの指導時間を充実できた。</li> <li>・休校中の英語教科書の音読のTV放送により、児童生徒の英語学習をサポートすることができた。</li> <li>・地域の活動を含めた各種活動に積極的に参加し、国際理解教育に貢献することができた。</li> </ul>
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ALT会議において指導力向上を図るための研修の機会を充実する。</li> <li>・大規模校と小規模校での各学級へのALT派遣回数が標準化しつつあるが、平均した訪問が出来るように、ALTの配置等について引き続き検討する。</li> </ul>
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R2完了 <input type="checkbox"/> R3完了予定

5.令和3年度事業実績・評価等(Check) R4.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国語指導助手(ALT)を市内全小学校全学級(3年~6年)で週1時間、全中学校全学級で週2時間概ね派遣</li> <li>・消防署で行われる外国人を対象とした災害や病気を想定した訓練や図書館での読み聞かせは、コロナ禍のため中止</li> <li>・中学生を対象としたイングリッシュシャワーを夏休みに実施。33名が参加。</li> <li>・小学生を対象としたイングリッシュシャワー(10月、12月)はコロナ禍のため中止。</li> <li>・観光パンフレットや緊急時用英語版アナウンスの作成も同様に中止。</li> </ul>
評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校高学年における英語の教科教化に合わせて、特に小学校でのALTの指導時間を充実できた。</li> <li>・新規ALTを対象とした授業向上の研修を行い、指導力向上に努めた。</li> <li>・スピーチコンテスト等に参加する生徒の指導、支援をすることができた。</li> </ul>
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導力向上研修を各ALTにつき2回行い、指導力向上研修を充実させる。</li> <li>・ALT会議において授業プランを作成し、各小中学校に提案する。</li> <li>・大規模校と小規模校でのALTの派遣回数が標準化しつつあるが、平均した訪問が出来るように、ALTの配置等について引き続き検討する。</li> </ul>
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R3完了 <input type="checkbox"/> R4完了予定

担当課 予算要求 ポイント	・外国語指導助手(ALT)の市内小中学校派遣等に必要経費を計上
---------------------	---------------------------------

財務部 査定の 考え方	積算内容を精査
-------------------	---------

市長査定の 考え方	・財務部査定のとおりに
--------------	-------------

事業シート(令和3年度決算)

事業名	91210 教育委員会事務局運営事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	2	心身の健康と文化、教育で心豊かな暮らしを実現する	市長公約
			款	9	教育費		まちづくり戦略	(3)	夢と誇りとやさしさにあふれる人の育み	
			項	1	教育総務費		根拠計画		教育基本振興計画、過疎地域持続的発展計画	
			目	2	事務局費					
担当課	教育委員会事務局 学校教育課	内線	2358							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員の健康維持、病気の早期発見(学校保健安全法に基づく)</li> <li>・日本スポーツ振興センター共済への加入促進により、学校管理下における児童生徒の災害発生時の保護者経費負担の軽減を図る。</li> <li>・教職員や学校医等の活動支援により、児童生徒の健全な育成を図る。</li> </ul>	概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県費教職員及び保健相談員を対象とした胸部レントゲン検査及び県費教職員を対象とした年代別健康診断を行う。</li> <li>・保護者の日本スポーツ振興センター共済掛金の一部を負担する。</li> <li>・教職員や学校医で組織される各種団体の上部団体からの分担金の負担および団体への助成を行う。</li> </ul>
----	---	----	---

総合計画等 主な指標	R2実績	R3実績	R6目標

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	R2		R3				
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)	
	14,685	14,209	14,239	14,188	13,879	△ 330	
特定財源							
国費( )							
県費( )							
その他(日本スポーツ振興センター ほか)	3,047	3,043	2,965	2,965	2,982	△ 61	
一般財源	11,638	11,166	11,274	11,223	10,897	△ 269	
個票枝番	主な事業内容						
	日本スポーツ振興センター負担金	6,500	6,404	6,400	6,400	6,273	△ 131
	教職員健康診断	2,167	2,167	2,200	2,149	2,149	△ 18

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和4年度予算編成(Action)

(千円)

R4予算		実施計画額		14,400
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
14,259	14,136	14,136	△ 103	
2,922	2,922	2,922	△ 43	
11,337	11,214	11,214	△ 60	
査定額	説明			
6,200				
2,300				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和2年度事業実績、評価等(Check) R3.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年代別健康診断 190人</li> <li>・胸部レントゲン検査 543人</li> <li>・共済掛金の一部負担金 6,616人</li> <li>・各種団体への負担金、補助金の支出 負担金 7団体、補助金 1団体</li> </ul>
評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員の健康推進のため、継続して事業を実施することができた。</li> <li>・学校管理下における児童生徒の災害補償をすることにより、保護者負担の軽減を図ることができた。</li> <li>・校長会等への負担により、各機関、団体と連携を密にした事業をより効率的に実施することができた。</li> </ul>
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R2完了 <input type="checkbox"/> R3完了予定

5.令和3年度事業実績、評価等(Check) R4.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年代別健康診断 191人</li> <li>・胸部レントゲン検査 524人</li> <li>・共済掛金の一部負担金 6,602人</li> <li>・各種団体への負担金、補助金の支出 負担金 11団体、補助金 1団体</li> </ul>
評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員の健康推進のため、継続して事業を実施することができた。</li> <li>・学校管理下における児童生徒の災害補償をすることにより、保護者負担の軽減を図ることができた。</li> <li>・校長会等への負担により、各機関、団体と連携を密にした事業をより効率的に実施することができた。</li> </ul>
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R2完了 <input type="checkbox"/> R3完了予定

担当課 予算要求 ポイント	・教職員等の健康診断や児童生徒の災害補償に必要な経費を計上
---------------------	-------------------------------

財務部 査定の 考え方	積算内容を精査
-------------------	---------

市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり
--------------	------------

事業シート(令和3年度決算)

事業名	91240 教育研究所運営事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	2	心身の健康と文化、教育で心豊かな暮らしを実現する	市長公約	・AI(人工知能)やIoT(様々なモノがインターネットと繋がり便利になる)、ICT(情報通信技術)などを活用した学習環境の整備に努めます。	
			款	9	教育費		まちづくり戦略	(3)	夢と誇りとやさしさにあふれる人の育み			
			項	1	教育総務費		根拠計画		教育基本振興計画、過疎地域持続的発展計画			
			目	2	事務局費							
担当課	教育委員会事務局 学校教育課	内線	2358									

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>教育研究所(研究・研修センター・相談・資料センター)を中心に教職員や児童生徒等の支援の充実</li> <li>であい塾の運営や相談体制の充実などによる不登校児童生徒の学級復帰への支援</li> <li>幼保小連携協議会を中心とした活動による幼稚園や保育園から小学校への円滑な就学の援助</li> </ul>	概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>指導力向上に資する教員研修を行う。</li> <li>指導主事が学校訪問し教職員の指導を行う。</li> <li>であい塾(不登校児童生徒適応指導教室)の管理、運営を行う。</li> <li>朝のスタートプランなどによる生活習慣形成の支援を行う。</li> </ul>
----	--	----	---

総合計画等 主な指標	R2実績	R3実績	R6目標
緊急サポートスタッフの派遣	-	0	0

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	R2		R3				
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)	
	13,174	8,818	12,080	14,188	13,879	5,061	
特定財源	国費(情報機器整備事業費 1/2)	350	282			△ 282	
	県費(ふるさと魅力体験事業費 10/10等)	2,500		1,010	1,010	875	
	その他(飛騨高山ふるさと基金繰入金、雑入)				31	31	
一般財源	10,324	8,536	11,070	13,178	12,973	4,437	
個票枝番	主な事業内容						
	であい塾児童生徒送迎、不登校児童生徒教育相談等	1,420	1,315	1,405	1,405	960	△ 355
	大学連携による研修等	140		140		0	
	ふるさと魅力体験学習事業	2,500		1,010	1,010	912	912
◎ 2	タブレット端末の導入、貸出ルーター用通信使用料等	4,390	3,704	3,950	3,950	3,813	109
◎ 1	いじめ防止アドバイザー派遣			1,370	1,370	1,204	1,204
	教育支援センターの設置						
	GIGAスクール運営支援ヘルプデスクの導入						

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和4年度予算編成(Action)

(千円)

R4予算		実施計画額	
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)
20,862	16,149	16,149	4,069
1,683	1,685	1,685	1,685
1,125	1,125	1,125	115
	1,000	1,000	1,000
18,054	12,339	12,339	1,269
査定額	説明		
1,460			
70			
1,125			
3,950			
1,370			
250			
3,370			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和2年度事業実績・評価等(Check) R3.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>教員の研修等の実施 10回 延べ参加人数約260人</li> <li>学校への出前講座の実施</li> <li>校内研究支援と指導助言の実施</li> <li>相談体制の整備(年間80件対応)</li> <li>ふるさと魅力体験事業 小学校0校 中学校0校(コロナにより中止)</li> <li>特別支援学級でのタブレット端末の運用</li> <li>書画カメラ5台を購入</li> <li>家庭学習のための貸出用ルーター20台を整備</li> </ul>
評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>今日の課題や学校の要望に応じた研修を計画し、1年間を通して計画的に継続的な研修を実施した。</li> <li>教育相談の要望件数が増えている中、適切に対応することができた。</li> <li>各特別支援学級の人数の変更にに応じてタブレット端末を配置し、各々の学年や個々の学習進度に応じて学ぶことができる個別学習の環境を整えることができた。</li> </ul>
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>オンラインによる研修の実施を検討する。</li> <li>公表会、各校校内研究会に、より多くの教職員が参観し、学び合えるよう取り組む。</li> <li>であい塾の全学的展開について検討をすすめる。</li> </ul>
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R2完了 <input type="checkbox"/> R3完了予定

5.令和3年度事業実績・評価等(Check) R4.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>教員の研修等の実施 18回 延べ参加人数約500人</li> <li>学校への出前講座の実施</li> <li>校内研究支援と指導助言の実施</li> <li>相談体制の整備(年間160件対応)</li> <li>ふるさと魅力体験事業 小学校2校、中学校2校</li> <li>特別支援学級でのタブレット端末の運用</li> <li>家庭学習のための貸出用ルーター20台の運用</li> <li>支所域での移動であい塾の開設</li> </ul>
評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>特別支援学級の児童生徒も含めた各学校における人数の変更にに応じてタブレット端末を配置し、各々の学年や個々の学習進度に応じて学ぶことができる個別学習の環境を整えることができた。</li> <li>モバイルルーターの貸出によって災害や新型コロナウイルス感染症による休校時などにおける家庭でのオンライン学習を進めることができた。</li> </ul>
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>オンラインの併用により教員研修の充実を図る。</li> <li>公表会、各校校内研究会に、より多くの教職員が参加し、学び合えるよう取り組む。</li> <li>不登校特例校の設置に向けた準備を進める。</li> <li>広い市域への対応として、であい塾分教室を試行実施する。</li> </ul>
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R3完了 <input type="checkbox"/> R4完了予定

担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>いじめ防止にかかる支援等に必要経費を計上</li> <li>ICT環境の維持やオンライン学習への支援等に必要経費を計上</li> <li>不登校児童生徒の学級復帰への支援等に必要経費を計上</li> </ul>
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	積算内容を精査
市長査定 の考え方	財務部査定のとおりに

主要事業個票(令和3年度決算)

事業名	91240 教育研究所運営事業費	区分	<input type="checkbox"/> R2新規	<input checked="" type="checkbox"/> R3新規	予算	会計	1	一般会計	担当課	学校教育課
枝番・内容	1 いじめ防止アドバイザー派遣		<input type="checkbox"/> R2拡充	<input type="checkbox"/> R3拡充		款	9	教育費		
		<input type="checkbox"/> その他重要事業		項		1	教育総務費	内線	2344	
		<input type="checkbox"/>		目		2	事務局費	作成年月	R2.11	

事業の目的・概要(Plan)

目的	・いじめ問題に対し、未然防止や早期発見・早期対応により、深刻な重大事態に発展させないよう児童・生徒の安心・安全を守る。	概要	・ハイパーQU等の分析を行い、各校の子どもを継続的に支援する ・各校のいじめに係る対応について、指導・助言や管理職や教職員に対して、いじめの未然防止や早期発見・早期対応に係る支援・指導等を行う
----	---	----	---

【参考】R2決算(Do・Check) R3.8時点 (千円)

予算額	当初	
	繰越	
	補正等	
	最終	
決算額		
対前年度増減額(決算)		

【参考】R3当初予算(Action) R3.3時点 (千円)

予算額	当初	1,370
主な経費	いじめ防止アドバイザー派遣のための報酬等	
	対前年度増減額(当初予算)	

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

R3決算(Do・Check) R4.8時点 (千円)

予算額	当初	1,370
	繰越	
	補正等	
	最終	1,370
決算額		1,204
対前年度増減額(決算)		1,204

R4予算査定(Action) (千円)

予算額	当初	1,370
主な経費	いじめ防止アドバイザー派遣のための報酬等	
	対前年度増減額(当初予算)	

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績、評価等	
[事業実績]	
[評価等]	
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R2完了 <input type="checkbox"/> R3完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	いじめ防止アドバイザー謝礼、費用弁償
[スケジュール]	4月～ 各校を回り助言・指導を実施

事業実績、評価等	
[事業実績]	いじめ防止アドバイザー1名を全校へ派遣し、適切な指導・助言を与えることができた。
[評価等]	いじめの未然防止や対処法についてのより実践的なアドバイスを受けることができ、担当教員の指導力が向上するとともに、教員の心身の負担が軽減された効果もあった。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R3完了 <input type="checkbox"/> R4完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	いじめ防止アドバイザー謝礼、費用弁償
[スケジュール]	4月～ 各校を回り助言・指導を実施

主要事業個票(令和3年度決算)

事業名	91240 教育研究所運営事業費	区分	<input type="checkbox"/> R2新規	<input checked="" type="checkbox"/> R3新規	予算	会計	1	一般会計	担当課	学校教育課
枝番・内容	2 貸出ルーター用通信使用料		<input type="checkbox"/> R2拡充	<input type="checkbox"/> R3拡充		款	9	教育費		
		<input type="checkbox"/> その他重要事業		項		1	教育総務費	内線	2344	
		<input type="checkbox"/>		目		2	事務局費	作成年月	R2.11	

事業の目的・概要(Plan)

目的	・コロナウイルス感染症対策のため遠隔授業が必要となった際などに、インターネット環境が整っていない家庭に対しルーターを貸し出すことにより、遠隔授業が受けられる環境を整える。	概要	・貸出ルーター用通信使用料を負担する。
----	---	----	---------------------

【参考】R2決算(Do・Check) R3.8時点 (千円)

予算額	当初	
	繰越	
	補正等	
	最終	
決算額		
対前年度増減額(決算)		

【参考】R3当初予算(Action) R3.3時点 (千円)

予算額	当初	270
主な経費	・貸出ルーターにかかる通信使用料	
	対前年度増減額(当初予算)	

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

R3決算(Do・Check) R4.8時点 (千円)

予算額	当初	270
	繰越	
	補正等	
	最終	270
決算額		265
対前年度増減額(決算)		265

R4予算査定(Action) (千円)

予算額	当初	270
主な経費	・貸出ルーターにかかる通信使用料	
	対前年度増減額(当初予算)	

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績、評価等	
[事業実績]	
[評価等]	
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R2完了 <input type="checkbox"/> R3完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症対応として、ICTの活用により子供たちが家庭においても学習を行うことを目的とし必要な環境を整備。</li> <li>・R2補正にてルーターの購入を行うため、R3以降の通信料について必要経費を計上。</li> <li>・貸出用ルーター 20台</li> </ul>
[スケジュール]	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4月～ 遠隔授業が必要な際にルーターを貸し出す</li> </ul>

事業実績、評価等	
[事業実績]	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症や災害等による休校時に貸し出しを行い、子供たちが家庭学習を行うことができた。</li> </ul>
[評価等]	<ul style="list-style-type: none"> <li>・休校時だけでなく、不登校児童生徒による遠隔授業などにも活用することができ、校内ネットワークを補完する効果もあった。</li> </ul>
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ルーター貸出を非常時だけでなく日常的に家庭学習に活用できるようにするための環境整備をソフト・ハード両面から進める。</li> <li><input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善</li> <li><input type="checkbox"/> 拡大</li> <li><input type="checkbox"/> 縮小</li> <li><input type="checkbox"/> 廃止検討</li> <li><input type="checkbox"/> R3完了</li> <li><input type="checkbox"/> R4完了予定</li> </ul>

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症対応として、ICTの活用により子供たちが家庭においても学習を行うことを目的とし必要な環境を整備。</li> <li>・引き続き、通信料について必要経費を計上。</li> <li>・貸出用ルーター 20台 (小中学校費で300台を追加して運用)</li> </ul>
[スケジュール]	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4月～ 遠隔授業が必要な際にルーターを貸し出す</li> </ul>

事業シート(令和3年度決算)

事業名	91250 特別支援教育推進事業費	予算	会計	1	一般会計	総会計画	まちづくりの方向性	2	心身の健康と文化、教育で心豊かな暮らしを実現する	市長公約
			款	9	教育費		まちづくり戦略	(3)	夢と誇りとやさしさにあふれる人の育み	
			項	1	教育総務費		根拠計画		教育基本振興計画、過疎地域持続的発展計画	
			目	2	事務局費					
担当課	教育委員会事務局 学校教育課	内線	2358							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学びにくさ、生活のしづかさなどの困り感を抱えた児童生徒の教育的ニーズに応じて適した指導・援助を行い、自立を支援する。</li> </ul>	概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就学相談会、特別支援教育講演会、教育支援委員会を開催する。</li> <li>・医療行為を必要とする障がい児等を訪問看護により支援する。</li> <li>・幼稚園・保育園と小学校、小学校と中学校、中学校と高等学校等、就学前から卒業までを見据えた切れ目ない支援を行う。</li> </ul>
----	---	----	---

総合計画等 主な指標	R2実績	R3実績	R6目標

2.事業の実施結果等(Do)

		R2		R3			(千円)
歳出事業費 (職員人件費を除く)		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		1,090	746	1,090	1,090	409	△ 337
特定財源	国費( )						
	県費( )						
	その他( )						
一般財源		1,090	746	1,090	1,090	409	△ 337
個票枝番	主な事業内容						
	障がい児等に対する地域と一体化した教育支援	230	70	230	230	74	4
	医療行為を必要とする児童生徒の学校活動に対する支援	860	676	860	860	336	△ 340

4.令和4年度予算編成(Action)

		R4予算		実施計画額		1,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)			
1,508	1,520	1,520	430			
1,508	1,520	1,520	430			
査定額	説明					
230						
1,290						

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和2年度事業実績・評価等(Check) R3.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就学相談会の実施(5月下旬～6月上旬各小学校で実施) 1回</li> <li>・特別支援教育講演会の実施 1回 31人</li> <li>・教育支援委員会の開催 2回</li> <li>・訪問看護の実施 12回</li> <li>・幼保小連携協議会 1回</li> </ul>
評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・適切な教育支援が行われるよう特別支援学校、関係各機関と連携して就学相談会を実施した。</li> <li>・発達についての理解を深めるのに適した講師を招き、講演会を開催できた。</li> <li>・切れ目ない支援という視点から、子ども発達支援センターや健康推進課と連携し、サポートブックをはじめとした療育システムの構築、幼保小の連携の取り組みの推進(就学までに目指す姿・朝のスタートプラン)に努めた。</li> </ul>
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も教職員の資質向上のための研修を充実させていく。</li> </ul>

5.令和3年度事業実績・評価等(Check) R4.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就学相談会の実施(5月下旬～6月上旬各小学校で実施) 1回</li> <li>・特別支援教育講演会の実施(オンライン) 1回 31人</li> <li>・教育支援委員会の開催 2回</li> <li>・訪問看護の実施 12回</li> <li>・幼保小連携協議会 2回(2回ともオンライン開催)</li> </ul>
評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・適切な教育支援が行われるよう特別支援学校、関係各機関と連携して就学相談会を実施した。</li> <li>・適切な教育支援のための手引を作成し、各小中学校へ発信した。</li> <li>・発達についての理解を深めるのに適した講師を招き、講演会を開催できた。</li> <li>・切れ目ない支援という視点から、子ども発達支援センターや健康推進課と連携し、サポートブックをはじめとした療育システムの構築、幼保小の連携の取り組みの推進(就学までに目指す姿・朝のスタートプラン)に努めた。</li> </ul>
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も教職員の資質向上のための研修を充実させていく。</li> </ul>

担当課 予算要求 ポイント	・専門講師の巡回相談、就学支援扶助等に必要経費を計上
---------------------	----------------------------

財務部 査定の 考え方	積算内容を精査
市長査定の 考え方	・財務部査定のとおりに

事業シート(令和3年度決算)

事業名	92200 小学校運営事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	2	心身の健康と文化、教育で心豊かな暮らしを実現する	市長公約	・児童・生徒の一人ひとりの「個性・能力・創造性」を育むとともに、国際化に対応できる教育、地域や地場産業を学び・体験する教育(郷土への誇り・愛着の醸成)などを充実します。
			款	9	教育費		まちづくり戦略	(3)	夢と誇りとやさしさにあふれる人の育み		
			項	2	小学校費		根拠計画		教育基本振興計画、過疎地域持続的発展計画		
			目	2	教育振興費						
担当課	教育委員会事務局 学校教育課	内線	2358								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校運営に関する費用を負担することにより義務教育の充実を図る。</li> <li>陸上記録会、音楽会など全教育活動を通して児童の心身の健全育成を図る。</li> </ul>	概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校運営に関する費用を負担する。</li> <li>新入学時に安全な通学のため安全帽子と防犯ブザーを配付する。</li> <li>あたたかな人間関係づくりのための心理検査を実施し学級経営を支援する。</li> <li>児童の健康診断を実施する。</li> <li>音楽会や陸上記録会等の行事を開催する。</li> </ul>
----	---	----	---

総合計画等 主な指標	R2実績	R3実績	R6目標
学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができると思う児童生徒の割合	78.8%	80.1%	100%
教職員1人あたりの時間外勤務	41.6	39.3	↘

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	R2		R3			
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
	75,000	69,096	38,840	39,376	34,423	△ 34,673
特定財源						
国費 (へき地児童生徒援助費 1/3)	300	344			59	△ 285
県費 (学校基本調査事務費 10/10)		7			5,568	5,561
その他(飛騨高山ふるさと基金繰入金、福祉健康基金繰入金)	700	650	2,700	2,700	3,661	3,011
一般財源	74,000	68,095	36,140	36,676	25,135	△ 42,960
個票枝番	主な事業内容					
	防犯ブザーの配付	450	457	450	464	7
	人間関係づくりのための心理検査の実施	2,860	1,412	2,760	2,748	1,336
	小学校運営事業	34,300	30,594	31,240	26,822	△ 3,772
	校務支援システムの導入	4,390	4,389	4,390	4,389	0
	教科書改訂に伴う購入	33,000	32,244			△ 32,244

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和4年度予算編成(Action)

(千円)

R4予算		実施計画額		39,300
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
38,548	37,880	37,880	△ 960	
709	2,700	2,700	0	
37,839	35,180	35,180	△ 960	
査定額	説明			
490				
2,690				
30,310				
4,390				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和2年度事業実績・評価等(Check) R3.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>あたたかな人間関係づくりのための心理検査の実施(小3~6年生) 3,050人</li> <li>児童健康診断 4,577人</li> <li>防犯ブザーの配付 660人</li> <li>教科書改訂に伴う指導書等購入 19校</li> </ul>
評価等	<p>・小3~6年に対する心理検査を実施。(※R2年度はコロナによる休校のため1回のみ実施)各校で結果を分析し児童の変化に気づくことで、早めの対策を講じることができた。</p>
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善</li> <li><input type="checkbox"/> 拡大</li> <li><input type="checkbox"/> 縮小</li> <li><input type="checkbox"/> 廃止検討</li> <li><input type="checkbox"/> R2完了</li> <li><input type="checkbox"/> R3完了予定</li> </ul> <p>・本事業費は、児童が充実した学校生活を送るための学校運営に必要な事務経費であり、今後も効率的な運営を行い、児童の心身の健全育成のため継続して事業を実施する。</p>

5.令和3年度事業実績・評価等(Check) R4.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>あたたかな人間関係づくりのための心理検査の実施(小3~6年生) 2,994人</li> <li>児童健康診断 4,436人</li> <li>防犯ブザーの配付 670人</li> <li>校務支援システムの運用</li> </ul>
評価等	<p>・小3~6年に対する心理検査を実施。各校で結果を分析し児童の変化に気づくことで、早めの対策を講じることができた。</p> <p>・校務支援システムを活用することにより、出席簿、成績、出退勤把握の業務において、事務処理が統一化され、作業に係る負担を軽減することができた。</p>
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善</li> <li><input type="checkbox"/> 拡大</li> <li><input type="checkbox"/> 縮小</li> <li><input type="checkbox"/> 廃止検討</li> <li><input type="checkbox"/> R3完了</li> <li><input type="checkbox"/> R4完了予定</li> </ul> <p>・本事業費は、児童が充実した学校生活を送るための学校運営に必要な事務経費であり、今後も効率的な運営を行い、児童の心身の健全育成のため継続して事業を実施する。</p>

担当課 予算要求 ポイント	・小学校の学校運営に必要な経費を計上
---------------------	--------------------

財務部 査定 の 考え方	積算内容を精査
-----------------------	---------

市長査定 の 考え方	・財務部査定のとおり
------------------	------------

事業シート(令和3年度決算)

事業名	92210 小学校心の教育推進事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	2	心身の健康と文化、教育で心豊かな暮らしを実現する	市長公約
			款	9	教育費		まちづくり戦略	(3)	夢と誇りとやさしさにあふれる人の育み	
			項	2	小学校費		根拠計画 教育基本振興計画、過疎地域持続的発展計画			
			目	2	教育振興費					
担当課	教育委員会事務局 学校教育課	内線	2358							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>個々の内面に寄り添い支援しながら、一人ひとりが持つ良さや可能性が十分発揮できるようにする。</li> <li>児童の学校生活への不応やいじめ、不登校問題などの未然防止を図る。</li> </ul>	概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>保健相談員、特別支援員を配置し、児童の学校生活の支援を行う。</li> <li>スクールカウンセラー(臨床心理士)を派遣し、心のケアを行う。</li> </ul>
----	---	----	--

総合計画等 主な指標	R2実績	R3実績	R6目標

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	R2		R3			
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
	2,050	1,995	2,050	2,050	1,995	0
特定財源						
国費( )						
県費( )						
その他( 飛騨高山ふるさと基金繰入金 )						
一般財源	2,050	1,995	2,050	2,050	1,995	
個票枝番	主な事業内容					
	2,000	1,995	2,000	2,000	1,995	0
	スクールカウンセラーの派遣					

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和4年度予算編成(Action)

(千円)

R4予算		実施計画額		2,100
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
2,050	2,050	2,050	0	
2,050	2,050	2,050	0	
査定額	説明			
2,000				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和2年度事業実績・評価等(Check) R3.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>臨床心理士によるカウンセリング時間 399時間</li> <li>保健相談員(小学校) 16人 配置</li> <li>特別支援員(小学校) 67人 配置</li> </ul>
評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習や集団生活に「困り感」をかかえる児童に寄り添いながら、教職員との連携体制を整え、適した支援を行うことができた。</li> <li>特別支援学級の増加や相談室等での支援を要する児童生徒の増加に伴い、保健相談員、特別支援員を増やし、支援を充実させることができた。</li> <li>相談員のスキル向上のための研修がコロナ禍により実施できなかった。</li> </ul>
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>発達障がいや不登校傾向の生徒への対応、日本語が困難な生徒への対応など、手厚い支援ができるよう継続して一人ひとりに寄り添う事業を実施する。</li> <li>相談員の資質・能力の向上や不登校対策に向けた保健相談の充実を図る。</li> </ul>
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R2完了 <input type="checkbox"/> R3完了予定

5.令和3年度事業実績・評価等(Check) R4.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>臨床心理士によるカウンセリング時間 399時間</li> <li>保健相談員(小学校) 22人 配置</li> <li>特別支援員(小学校) 65人 配置</li> </ul>
評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習や集団生活に「困り感」をかかえる生徒に寄り添いながら、教職員との連携体制を整え、適した支援を行うことが出来た。</li> <li>特別支援学級の増加や相談室等での支援を要する児童生徒の増加に伴い、保健相談員、特別支援員を増やし、支援を充実させることができた。</li> </ul>
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>発達障がいや不登校傾向の生徒への対応、日本語が困難な生徒への対応などのニーズが年々増えてきている。また、異学年にまたがる特別支援学級では、7~8人の学級で一人一人の対応のサポートとして支援員が必要だという要望がある。手厚い支援ができるよう継続して一人ひとりに寄り添う事業を実施する。</li> <li>相談員の資質・能や職員との連携の向上に向けた研修会の充実を図る。</li> <li>不登校対策に向けた保健相談員の充実を図る。</li> </ul>
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R3完了 <input type="checkbox"/> R4完了予定

担当課 予算要求ポイント	児童、保護者、教職員のカウンセリング、研修等のためのスクールカウンセラーの派遣に必要な経費を計上
--------------	--

財務部 査定の考え方	要求どおり
市長査定の考え方	財務部査定のとおり



事業シート(令和3年度決算)

事業名	92220 小学校教育機器整備事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	2	心身の健康と文化、教育で心豊かな暮らしを実現する	市長公約	AI(人工知能)やIoT(様々なモノがインターネットと繋がり便利になる)、ICT(情報通信技術)などを活用した学習環境の整備に努めます。
			款	9	教育費		まちづくり戦略	(3)	夢と誇りとやさしさにあふれる人の育み		
			項	2	小学校費		教育基本振興計画、過疎地域持続的発展計画				
			目	2	教育振興費		根拠計画				
担当課	教育委員会事務局 学校教育課	内線	2358								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童の学習意欲の向上と学力の定着を図る。</li> <li>情報教育により情報化社会に対応した情報通信機器を活用できる力の習得や規範意識の向上を図る。</li> </ul>	概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報通信関連機器などの教具・教材を整備する。</li> <li>学校内で使用する教材備品の購入</li> </ul>
----	---	----	---

総合計画等 主な指標	R2実績	R3実績	R6目標
「国語の授業の内容はよく分かりますか」で分かると回答した児童生徒の割合	83.3%	84.2%	♪

2.事業の実施結果等(Do)

		R2		R3			
歳出事業費 (職員人件費を除く)		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		430,250	332,229	207,600	207,601	205,447	△ 126,782
特定財源	国費(情報通信環境整備事業補助金 1/2、10/10)	500	90,549	0	0	1,534	△ 89,015
	県費						
	その他(飛騨高山ふるさと基金繰入金、夢・まちづくり基金繰入金)	15,510	15,510	136,600	136,600	146,600	131,090
一般財源		414,240	226,170	71,000	71,001	57,313	△ 168,857
個票枝番	主な事業内容						
	小学校教育機器整備事業費	35,240	32,793	52,790	50,814	48,920	16,127
	教育系情報ネットワークのセキュリティ強化	18,700	18,696	18,700	18,700	18,695	△ 1
	電子黒板・デジタル教科書の配置	31,270	25,191	46,480	46,480	46,229	21,038
	教材費	21,600	21,453	19,200	21,177	21,177	△ 276
◎ 1	1人1台タブレットの活用、貸出用ルーター通信使用料等	25,700	4,390	70,430	70,430	70,426	66,036
	学校情報通信ネットワーク環境整備工事	280,000	212,277				△ 212,277
	丁合等機能付き事務機器の導入						

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和4年度予算編成(Action)

R4予算		実施計画額		173,200
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
207,726	205,210	205,210	△ 2,390	
0				
	153,270	153,270	16,670	
207,726	51,940	51,940	△ 19,060	
査定額	説明			
47,840				
18,700				
47,210				
18,600				
72,860				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和2年度事業実績・評価等(Check) R3.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>GIGAスクール構想による校内LAN整備工事、電源キャビネット整備工事 19校(通常学級教室、体育館でWiFi接続を利用できる環境の整備)</li> <li>GIGAスクール構想による1人1台端末の導入 4,422台</li> <li>普通教室・少人数教室・理科室への電子黒板を用いた教師用デジタル教科書の導入 19校</li> </ul>	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R2完了 <input type="checkbox"/> R3完了予定
評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>GIGAスクール構想による環境整備工事及び1人1台端末の導入が完了したことにより、令和3年度からの1人1台端末の使用が可能となった。</li> <li>電子黒板、教師用デジタル教科書を活用することによって、様々なコンテンツを利用した授業を行うことができ、主体的に学習に向かう児童が増えた。</li> </ul>	
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>電子黒板の全学級配置(少人数学級の増加分、特別支援学級を含む)を図る。</li> <li>理科室、音楽室などの特別教室を含む校舎内全域でWiFi接続を利用できるような環境整備を図る。</li> <li>教職員用の授業づくり用1人1台端末の配置を図る。</li> <li>教育情報セキュリティポリシーを見直し、GIGAスクール構想によるICT利活用の推進とともに、児童・教職員の情報セキュリティに対する意識向上を図る。</li> </ul>	

5.令和3年度事業実績・評価等(Check) R4.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>GIGAスクール構想により整備・導入した校内LAN、電源キャビネット、1人1台端末の運用</li> <li>GIGAスクール構想によるモバイルルーターの導入 全300台</li> <li>普通教室・少人数教室・理科室への電子黒板を用いた教師用デジタル教科書の運用</li> </ul>	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R3完了 <input type="checkbox"/> R4完了予定
評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>GIGAスクール構想により整備・導入した環境・機器の運用が始まり、1人1台端末を利用して様々な教育活動に工夫して取り組むことができた。</li> <li>電子黒板と教師用デジタル教科書を活用することによって、様々なコンテンツを利用した授業を行うことができ、主体的に学習に向かう児童が増えた。</li> </ul>	
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>電子黒板の全学級配置(少人数学級の増加分、特別支援学級を含む)を図る。</li> <li>校舎内全域でWi-Fi接続を安定して利用できるような環境整備を図る。</li> <li>教職員用の授業づくり用1人1台端末の配置を図る。</li> <li>教育情報セキュリティポリシーを見直し、GIGAスクール構想によるICT利活用の推進とともに、児童・教職員の情報セキュリティに対する意識向上を図る。</li> </ul>	

担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校教材の購入に必要な経費を計上</li> <li>教育系ICT機器等の導入、維持管理に必要な経費を計上</li> </ul>
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>ネットワーク管理システム、貸出用ルーター通信使用料について、事業課とのヒアリングに基づき必要な金額を追加</li> </ul>
市長査定 の考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>財務部査定のとおり</li> </ul>

主要事業個票(令和3年度決算)

事業名	92220 小学校教育機器整備事業費	区分	<input type="checkbox"/> R2新規	<input type="checkbox"/> R3新規	会計	1	一般会計	担当課	学校教育課
枝番・内容	1 1人1台タブレットの活用		<input type="checkbox"/> R2拡充	<input checked="" type="checkbox"/> R3拡充		款	9		
		<input type="checkbox"/> その他重要事業		項		2	小学校費	内線	2358
		<input type="checkbox"/>		目		2	教育振興費	作成年月	R2.11

事業の目的・概要(Plan)

目的	・児童の学習意欲の向上と学力の定着を図る。 ・「公正に個別最適化された学び」を実現するため、児童1人1台タブレットの授業等での活用を図る。	概要	・アプリやデジタル教材等を使った学習の実施
----	--	----	-----------------------

[参考] R2決算(Do・Check) R3.8時点 (千円)

予算額	当初	
	繰越	
	補正等	
	最終	
決算額		
対前年度増減額(決算)		

[参考] R3当初予算(Action) R3.3時点 (千円)

予算額	当初	70,430
主な経費	・1人1台タブレットにかかるリース料	
対前年度増減額(当初予算)		70,430

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

R3決算(Do・Check) R4.8時点 (千円)

予算額	当初	70,430
	繰越	
	補正等	
	最終	70,430
決算額		70,426
対前年度増減額(決算)		70,426

R4予算査定(Action) (千円)

予算額	当初	70,430
主な経費	・1人1台タブレットにかかるリース料	
対前年度増減額(当初予算)		0

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績、評価等	
[事業実績]	
[評価等]	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R2完了 <input type="checkbox"/> R3完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	・児童1人1台タブレットを活用した授業等の実施
[スケジュール]	4月～ 1人1台タブレットを活用した授業等を実施

事業実績、評価等	
[事業実績]	・GIGAスクール構想により整備・導入した校内LAN、電源キャビネット、1人1台端末の運用 ・普通教室・少人数教室・理科室への電子黒板を用いた教師用デジタル教科書の運用
[評価等]	・GIGAスクール構想により整備・導入した環境・機器の運用が始まり、1人1台端末を利用して様々な教育活動に工夫して取り組むことができた。 ・電子黒板と教師用デジタル教科書を活用することによって、様々なコンテンツを利用した授業を行うことができ、主体的に学習に向かう児童が増えた。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R3完了 <input type="checkbox"/> R4完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	・児童1人1台タブレットを活用した授業等の実施 ・電子黒板と教師用デジタル教科書を活用した授業の実施
[スケジュール]	4月～ 1人1台タブレット、教師用デジタル教科書を活用した授業等を実施

事業シート(令和3年度決算)

事業名	92230 小学校図書教育推進事業費	予算	会計	1	一般会計	総会計画	まちづくりの方向性	2	心身の健康と文化、教育で心豊かな暮らしを実現する	市長公約
			款	9	教育費		まちづくり戦略	(3)	夢と誇りとやさしさにあふれる人の育み	
			項	2	小学校費		根拠計画		教育基本振興計画、過疎地域持続的発展計画	
			目	2	教育振興費					
担当課	教育委員会事務局 学校教育課	内線	2358							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>全小学校の図書館の蔵書について文部科学省基準を上回る図書内容を整備し、分野別でも基準を満たす。</li> <li>読書に親しめる環境づくりを進めるとともに、学習・情報センターとして活用できる学校図書館にする。</li> <li>新たに子どもの居場所づくりの場所としての空間づくりを進める。</li> </ul>	概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校図書館の管理・運営を行う。</li> <li>分野ごとにバランスの取れた選書による図書購入を行う。</li> </ul>
----	--	----	---

総合計画等 主な指標	R2実績	R3実績	R6目標

2.事業の実施結果等(Do)

		R2		R3			(千円)
歳出事業費 (職員人件費を除く)		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		52,460	52,431	51,460	51,459	51,431	△ 1,000
特定財源	国費( )						
	県費( )						
	その他( 飛騨高山ふるさと基金繰入金 )	400	400				△ 400
一般財源		52,060	52,031	51,460	51,459	51,431	△ 600
個票枝番	主な事業内容						
	図書館指導員の配置	36,800	36,784	36,800	36,800	36,784	0
	小学校図書教育推進事業費	560	549	560	560	548	△ 1
	図書購入費	15,100	15,098	14,100	14,099	14,099	△ 999

4.令和4年度予算編成(Action)

R4予算		実施計画額		52,100
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
53,538	51,060	51,060	△ 400	
53,538	51,060	51,060	△ 400	
査定額	説明			
36,800				
560				
13,700				

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和2年度事業実績・評価等(Check) R3.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>図書館指導員の全校配置</li> <li>小学校図書購入冊数 7,601 冊</li> </ul>
評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習センター・情報センターとして学校図書館が機能していくように、教科との連携を図り、児童により必要な蔵書の充実を図った。</li> <li>調べ学習や学習に活用している百科事典の改訂に対応できるよう、各学校で購入・配置した。</li> </ul>
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習、情報センターとして活用できる学校図書館となるよう、また、子どもの居場所づくりのために学校図書館の効果的な活用についての研修、実践を強化する。</li> </ul>
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R2完了 <input type="checkbox"/> R3完了予定

5.令和3年度事業実績・評価等(Check) R4.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>図書館指導員の全校配置</li> <li>小学校図書購入冊数 6,645 冊</li> </ul>
評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習センター・情報センターとして学校図書館が機能していくように、教科との連携を図り、児童により必要な蔵書の充実を図った。</li> <li>調べ学習や学習に活用している百科事典の改訂に対応できるよう、各学校で購入・配置した。</li> </ul>
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習、情報センターとして活用できる学校図書館となるよう、また、子どもの居場所づくりのために学校図書館の効果的な活用についての研修、実践を強化する。</li> </ul>
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R3完了 <input type="checkbox"/> R4完了予定

担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校図書館の図書更新等に必要経費を計上</li> </ul>
---------------------	---

財務部 査定の 考え方	積算内容を精査
市長査定 の考え方	財務部査定のとおりに

事業シート(令和3年度決算)

事業名	92240 小学校要保護及び準要保護等児童援助事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	2	心身の健康と文化、教育で心豊かな暮らしを実現する	市長公約
			款	9	教育費		まちづくり戦略	(2)	安心して子育てができる環境の充実	
			項	2	小学校費		根拠計画		教育基本振興計画、過疎地域持続的発展計画	
			目	2	教育振興費					
担当課	教育委員会事務局 学校教育課	内線	2358							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経済的理由のため就学困難と認められる児童の就学を援助する。</li> <li>・特別支援学級等に在籍する児童の就学を奨励する。</li> </ul>	概要	・保護者の収入等に応じて、必要な学用品費等や学校給食費の全部または一部を援助する。
----	--	----	---

総合計画等 主な指標	R2実績	R3実績	R6目標

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R2		R3			
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		20,100	17,576	20,200	20,200	15,207	△ 2,369
特定財源	国費 ( 特別支援教育就学奨励費 1/2 )	3,050	2,476	3,600	3,600	1,851	△ 625
	県費 ( )						
	その他( 就学援助費返還金 )		13				△ 13
一般財源		17,050	15,087	16,600	16,600	13,356	△ 1,731
個票枝番	主な事業内容						
	要保護及び準要保護児童就学援助費	8,000	6,073	7,000	7,000	6,115	42
	要保護及び準要保護児童給食費	6,000	6,288	6,000	6,000	5,002	△ 1,286
	特別支援教育就学奨励費	6,100	5,216	7,200	7,200	4,090	△ 1,126

4.令和4年度予算編成(Action)

R4予算		実施計画額		19,900
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
17,300	19,300	19,300	△ 900	
3,150	3,150	3,150	△ 450	
14,150	16,150	16,150	△ 450	
査定額	説明			
7,000				
6,000				
6,300				

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和2年度事業実績、評価等(Check) R3.8実施

事業実績	・要保護・準要保護等児童援助費 368人
評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の学用品の一部や給食費(コロナによる休校期間中を含む)などを実費支給し、児童扶養手当などによる支援と併せて安心して就学できる環境を整えることができた。</li> <li>・新入学用品費等について入学前の支給を実施し、対象児童の保護者の負担軽減を図ることができた。</li> </ul>
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国の制度改正の動向等を把握しながら、必要な援助、学校給食費の全部または一部を支給する。</li> </ul>
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R2完了 <input type="checkbox"/> R3完了予定

5.令和3年度事業実績、評価等(Check) R4.8実施

事業実績	・要保護・準要保護等児童援助費 321人
評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の学用品の一部や給食費(コロナによる休校期間中を含む)などを実費支給し、児童扶養手当などによる支援と併せて安心して就学できる環境を整えることができた。</li> <li>・新入学用品費等について入学前の支給を実施し、対象児童の保護者の負担軽減を図ることができた。</li> </ul>
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国の制度改正の動向等を把握しながら、必要な援助、学校給食費の全部または一部を支給する。</li> </ul>
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R3完了 <input type="checkbox"/> R4完了予定

担当課 予算要求 ポイント	・経済的理由のために就学困難な学齢児童への学用品費等の支給に必要な経費を計上
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	・要保護及び準要保護児童就学援助費、要保護及び準要保護児童給食費について、事業課とのヒアリングに基づき必要な額金額を追加
-------------------	--

市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり
--------------	------------

事業シート(令和3年度決算)

事業名	92260 小学校郷土教育推進事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	2	心身の健康と文化、教育で心豊かな暮らしを実現する	市長公約	・児童・生徒の一人ひとりの「個性・能力・創造性」を育むとともに、国際化に対応できる教育、地域や地場産業を学び・体験する教育(郷土への誇り・愛着の醸成)などを充実します。
			款	9	教育費		まちづくり戦略	(3)	夢と誇りとやさしさにあふれる人の育み		
			項	2	小学校費		根拠計画		教育基本振興計画、過疎地域持続的発展計画		
			目	2	教育振興費						
担当課	教育委員会事務局 学校教育課	内線	2358								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>各学校、地域の特色を活かした学校経営を行い、豊かな教育環境を創出する。</li> <li>地域の方々から、総合的な学習の時間・クラブ活動・進路講話・外国語指導等を受け、豊かな学習活動を展開しながら、様々な方面の事柄に興味関心を持たせ、生きる力の礎を築く。</li> </ul>	概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>各学校における特色ある学校経営を支援する。</li> <li>各学校で、その地域の特色ある講師や、児童が興味関心をもてる講師を選定し、様々な学習活動を行う。</li> </ul>
----	---	----	--

総合計画等 主な指標	R2実績	R3実績	R6目標
今住んでいる地域の行事に参加している児童の割合	76.3%	74.1%	100%
将来の夢や目標を持っている児童の割合	77.1%	79.4%	100%
「学校・家庭・地域が連携した児童生徒の教育環境が整っている」と感じている市民の割合	67.5%	65.6%	↗

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R2		R3			増減 (b)-(a)
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)	
		8,840	6,818	9,610	9,610	7,896	1,078
特定財源	国費 ( )						
	県費 ( )						
	その他 ( )						
一般財源		8,840	6,818	9,610	9,610	7,896	1,078
個票枝番	主な事業内容						
	特色ある学校経営の推進	5,000	4,031	5,000	5,000	4,778	747
	子どもの個性・能力・創造性を伸ばすキャリア教育の推進	200		200	200	75	75
	社会科副読本「飛驒の高山」	1,100	913	1,100	1,100	875	△ 38
	外部講師活用事業	1,900	1,272	1,900	1,900	1,300	28
◎ 1	社会科副読本「飛驒の高山」別冊			770	770	407	407

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和4年度予算編成(Action)

R4予算		実施計画額		8,800
要求額	財務部査定額	市長査定額 (d)	増減 (d)-(c)	
9,652	9,540	9,540	△ 70	
9,652	9,540	9,540	△ 70	
査定額	説明			
5,000	特色ある学校経営推進協議会補助金			
1,600				
1,900				
400				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和2年度事業実績・評価等(Check) R3.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>19校で延べ96名の講師を活用 634時間</li> <li>EST未来塾(プログラミング講座)は新型コロナウイルス感染症拡大により中止。</li> <li>特色ある学校経営推進事業 均等交付事業 19校で17件実施(うち4件は事業を縮小)、認定交付事業12校で12件実施(うち2件は事業を縮小) ※新型コロナウイルス感染症拡大により縮小</li> <li>社会科副読本の改訂準備委員会の開催 6回</li> <li>小学校3年生用の副読本を制作。</li> </ul>
評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>各校に均等に交付された補助金や社会科副読本を利用して、特色ある教育活動を展開し、郷土を知り、郷土に愛着を感じる活動を行うことで、主体的で深い学びを推進する機会を設けることが出来た。</li> <li>新型コロナウイルス感染症の拡大に伴って、中止・縮小せざるを得ない事業もあったが、各小学校で活動を工夫して取り組むことで、地域とつながる活動を実施することができた。</li> <li>社会科副読本別冊の改訂協議及び発刊を行い、より充実した授業に生かすことができた。</li> </ul>
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>特色ある教育活動は、児童に生きる力を育むとともに郷土教育の推進や地域との連携に成果をあげており、なくてはならない貴重な事業である。各校で特色ある活動を企画したり、地域の活性化につなげたりして工夫し、一層の推進を図る。</li> <li>社会科副読本については、3・4年生の各地域の学習の部分を一層充実させるために、改訂準備委員会を設立し、改訂に向けて進める。</li> </ul>

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- R2完了
- R3完了予定

5.令和3年度事業実績・評価等(Check) R4.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>外部講師 19校で約100名の講師を活用 647時間</li> <li>EST未来塾(プログラミング講座)を1回実施。20名参加。</li> <li>社会科副読本の改訂委員会の開催2回</li> <li>小学校3年生用の副読本「わたしたちのまち高山」を発行</li> </ul>
評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>小学校3年生用社会科副読本「わたしたちのまち高山」を発行し、社会科学習の入り口である3年生の学習に生かすことができた。</li> <li>新型コロナウイルス感染症の拡大に伴って、中止・縮小・延期せざるを得ない事業もあったが、各小学校で活動を工夫して取り組むことで、地域とつながる活動を実施することができた。</li> </ul>
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>社会科副読本は「飛驒の高山」と3年生用別冊「わたしたちのまち高山」の内容を適宜を見直し、より学習に生かせるものとなるよう改訂を進める。</li> </ul>

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- R3完了
- R4完了予定

担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>各学校の特色ある学校経営を支援するために必要な経費を計上</li> </ul>
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	積算内容を精査
市長査定 の考え方	財務部査定のとおりに

主要事業個票(令和3年度決算)

事業名	92260 小学校郷土教育推進事業費	区分	<input type="checkbox"/> R2新規	<input checked="" type="checkbox"/> R3新規	予算	会計	1	一般会計	担当課	学校教育課
枝番・内容	1 社会科副読本「飛驒の高山」別冊の発行		<input type="checkbox"/> R2拡充	<input type="checkbox"/> R3拡充		款	9	教育費		
		<input type="checkbox"/> その他重要事業		項		2	小学校費	内線	2358	
		<input type="checkbox"/>		目		2	教育振興費	作成年月	R2.11	

事業の目的・概要(Plan)

目的	・社会科副読本「飛驒の高山」の地域別に作成した別冊を発行し、郷土教育に活用することで、より地元の歴史の知識や愛着を深めてもらう	概要	・社会科副読本「飛驒の高山」の地域別に作成した別冊を発行
----	---	----	------------------------------

【参考】R2決算(Do・Check) R3.8時点 (千円)

予算額	当初	
	繰越	
	補正等	
	最終	
決算額		
対前年度増減額(決算)		

【参考】R3当初予算(Action) R3.3時点 (千円)

予算額	当初	770
主な経費	・郷土教育の内容を充実させた別冊製作	
	対前年度増減額(当初予算)	

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

R3決算(Do・Check) R4.8時点 (千円)

予算額	当初	770
	繰越	
	補正等	
	最終	770
決算額		407
対前年度増減額(決算)		407

R4予算査定(Action) (千円)

予算額	当初	400
主な経費	・郷土教育の内容を充実させた別冊製作	
	対前年度増減額(当初予算)	

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績、評価等	
[事業実績]	
[評価等]	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R2完了 <input type="checkbox"/> R3完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	・地域別に調べた歴史や特色等を記載した別冊の作成
[スケジュール]	・4月入札 ・5月印刷・配付

事業実績、評価等	
[事業実績]	・社会科副読本の改訂委員会の開催2回 ・小学校3年生用の副読本「わたしたちのまち高山」を発行
[評価等]	・小学校3年生用社会科副読本「わたしたちのまち高山」を発行し、社会科学習の入り口である3年生の学習に生かすことができた。 ・副読本によって郷土の良さや特徴などについてより深く理解することができた。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R3完了 <input type="checkbox"/> R4完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	・地域別に調べた歴史や特色等を記載した別冊の作成
[スケジュール]	・4月入札 ・5月印刷・配付

事業シート(令和3年度決算)

事業名	93200 中学校運営事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	2	心身の健康と文化、教育で心豊かな暮らしを実現する	市長公約	
			款	9	教育費		まちづくり戦略	(3)	夢と誇りとやさしさにあふれる人の育み		
			項	3	中学校費		根拠計画				教育基本振興計画、過疎地域持続的発展計画
			目	2	教育振興費						
担当課	教育委員会事務局 学校教育課	内線	2358								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・学校運営に関する費用を負担することにより義務教育の充実を図る。	概要	・学校運営に関する費用を負担する。 ・あたたかな人間関係づくりのための心理検査を実施し学級経営を支援する。 ・生徒の健康診断を実施する。
----	----------------------------------	----	--

総合計画等 主な指標	R2実績	R3実績	R6目標
学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができると思う児童生徒の割合	83.4%	80.7%	100%
教職員1人あたりの時間外勤務	45.1	48.1	↘

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	R2			R3			
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)	
	32,320	27,822	55,760	58,683	55,741	27,919	
特定財源							
国費 (へき地児童生徒援助費 1/3)	350	376				△ 376	
県費 (学校基本調査事務費 10/10)		4				△ 4	
その他(飛騨高山ふるさと基金繰入金・諸手数料)	1	1	1,000	1,000	1,000	999	
一般財源	31,969	27,441	54,760	57,683	54,741	27,300	
個票枝番	主な事業内容						
	人間関係づくりのための心理検査の実施	1,480	730	1,480	1,480	1,451	721
	中学校運営事業	28,070	24,320	26,500	29,423	26,815	2,495
	校務支援システムの導入	2,780	2,772	2,780	2,780	2,772	0
◎ 1	教科書改訂に伴う指導書購入			25,000	25,000	24,703	24,703

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和4年度予算編成(Action)

(千円)

R4予算		実施計画額		30,100
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
29,717	30,200	30,200	△ 25,560	
	1,000	1,000	0	
29,717	29,200	29,200	△ 25,560	
査定額	説明			
1,449				
25,971				
2,780				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和2年度事業実績、評価等(Check) R3.8実施

事業実績	・あたたかな人間関係づくりのための心理検査の実施(中1.2年生) 1,578人 ・生徒健康診断 2,504人
評価等	・中1.2年生に対する心理検査を実施。(※R2年度は休校のため1回のみ実施)各校で結果を分析し生徒の変化を気づくことで、早めの対策を講じることが出来た。 ・生徒の心身の健全育成のため、継続して事業を実施した。
次年度以降の考え方(担当課)	・心理検査のより有効的な活用を検討するとともに、効果を検証していく必要がある。 ・本事業費は、生徒が充実した学校生活を送るための学校運営に必要な事務経費であり、今後も効率的な運営を行い、生徒の心身の健全育成のため、継続して事業を実施する。

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- R2完了
- R3完了予定

5.令和3年度事業実績、評価等(Check) R4.8実施

事業実績	・あたたかな人間関係づくりのための心理検査の実施(中1.2年生) 1,578人 ・生徒健康診断 2,475人 ・校務支援システムの運用
評価等	・中1.2年生に対する心理検査を実施。各校で結果を分析し生徒の変化を気づくことで、早めの対策を講じることが出来た。 ・生徒の心身の健全育成のため、継続して事業を実施した。 ・校務支援システムを活用することにより、出席簿、成績、出退勤把握の業務において、事務処理が統一化され、作業に係る負担が軽減できた。
次年度以降の考え方(担当課)	・心理検査のより有効的な活用を検討するとともに、効果を検証していく必要がある。 ・本事業費は、生徒が充実した学校生活を送るための学校運営に必要な事務経費であり、今後も効率的な運営を行い、生徒の心身の健全育成のため、継続して事業を実施する。

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- R3完了
- R4完了予定

担当課 予算要求 ポイント	・中学校の学校運営に必要な経費を計上
---------------------	--------------------

財務部 査定の 考え方	積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに

主要事業個票(令和3年度決算)

事業名	93200 中学校運営事業費	区分	<input type="checkbox"/> R2新規	<input checked="" type="checkbox"/> R3新規	会計	1	一般会計	担当課	学校教育課
枝番・内容	1 教科書改訂に伴う指導書等購入		<input type="checkbox"/> R2拡充	<input type="checkbox"/> R3拡充		款	9		
		<input type="checkbox"/> その他重要事業		項		3	中学校費	内線	2358
		<input type="checkbox"/>		目		2	教育振興費	作成年月	R2.11

事業の目的・概要(Plan)

目的	・主体的で対話的な深い学びを推進するため、教科書改訂に伴い教科書、指導書を整備する	概要	・教科書改訂に伴う教師用教科書、指導書の購入
----	---	----	------------------------

【参考】R2決算(Do・Check) R3.8時点 (千円)

予算額	当初	
	繰越	
	補正等	
	最終	
決算額		
対前年度増減額(決算)		

【参考】R3当初予算(Action) R3.3時点 (千円)

予算額	当初	25,000
主な経費	・教科書改訂に伴う指導書等購入	
対前年度増減額(当初予算)		25,000

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

R3決算(Do・Check) R4.8時点 (千円)

予算額	当初	25,000
	繰越	
	補正等	
	最終	25,000
決算額		24,703
対前年度増減額(決算)		24,703

R4予算査定(Action) (千円)

予算額	当初	0
主な経費	・教科書改訂に伴う指導書等購入	
対前年度増減額(当初予算)		△ 25,000

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績、評価等	
[事業実績]	
[評価等]	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R2完了 <input type="checkbox"/> R3完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	・教科書改訂に伴う教師用教科書、指導書の購入 12校
[スケジュール]	・4月入札・納入

事業実績、評価等	
[事業実績]	・文部科学省による定期的な教科書の改訂により、中学校全校に5教科の指導書を新たに購入した。
[評価等]	・文部科学省による指導要領も時代と共に更新され、教科書の改訂も定期的に行われているが、これに迅速に対応することができ、生徒への最先端の指導に生かすことができた。
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input checked="" type="checkbox"/> R3完了 <input type="checkbox"/> R4完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	
[スケジュール]	



事業シート(令和3年度決算)

事業名	93210 中学校心の教育推進事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	2	心身の健康と文化、教育で心豊かな暮らしを実現する	市長公約	
			款	9	教育費		まちづくり戦略	(3)	夢と誇りとやさしさにあふれる人の育み		
			項	3	中学校費		根拠計画				教育基本振興計画、過疎地域持続的発展計画
			目	2	教育振興費						
担当課	教育委員会事務局 学校教育課	内線	2358								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・個々の内面に寄り添いながら、一人ひとりが持つ良さや可能性が十分発揮できるようにする。	概要	・保健相談員、特別支援員を配置し、生徒の学校生活の支援を行う。
----	---	----	---------------------------------

総合計画等 主な指標	R2実績	R3実績	R6目標

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R2		R3		
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)
特定財源	国費( )					
	県費( )					
	その他( 飛騨高山ふるさと基金繰入金 )					
一般財源						
個票枝番	主な事業内容					
	特別支援員・保健相談員の配置			-		

4.令和4年度予算編成(Action)

R4予算		実施計画額		0
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
査定額	説明			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和2年度事業実績、評価等(Check) R3.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>保健相談員 13人配置</li> <li>特別支援員 17人配置</li> </ul>
評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習や集団生活に「困り感」をかかえる生徒に寄り添いながら、教職員との連携体制を整え、適した支援を行うことが出来た。</li> <li>特別支援学級の増加や相談室等での支援を要する児童生徒の増加に伴い、保健相談員、特別支援員を増やし、支援を充実させることができた。</li> <li>相談員のスキル向上のための研修がコロナ禍により実施できなかった。</li> </ul>
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>発達障がいや不登校傾向の生徒への対応、日本語が困難な生徒への対応などのニーズが年々増えてきている。手厚い支援ができるよう継続して一人ひとりに寄り添う事業を実施する。</li> <li>相談員の資質・能力の向上に向けた研修会の充実を図る。</li> <li>不登校対策に向けた保健相談員の充実を図る。</li> </ul>
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R2完了 <input type="checkbox"/> R3完了予定

5.令和3年度事業実績、評価等(Check) R4.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>保健相談員 18人配置</li> <li>特別支援員 16人配置</li> </ul>
評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習や集団生活に「困り感」をかかえる生徒に寄り添いながら、教職員との連携体制を整え、適した支援を行うことが出来た。</li> <li>特別支援学級の増加や相談室等での支援を要する児童生徒の増加に伴い、保健相談員、特別支援員を増やし、支援を充実させることができた。</li> </ul>
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>発達障がいや不登校傾向の生徒への対応、日本語が困難な生徒への対応などのニーズが年々増えてきている。また、異学年にまたがる特別支援学級では、7~8人の学級で一人一人の対応のサポートとして支援員が必要だという要望がある。手厚い支援ができるよう継続して一人ひとりに寄り添う事業を実施する。</li> <li>相談員の資質・能や職員との連携の向上に向けた研修会の充実を図る。</li> <li>不登校対策に向けた保健相談員の充実を図る。</li> </ul>
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R3完了 <input type="checkbox"/> R4完了予定

担当課 予算要求 ポイント	・発達障害や不登校傾向の生徒、日本語が困難な生徒等への支援に必要な経費を計上
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(令和3年度決算)

事業名	93220 中学校教育機器整備事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	2	心身の健康と文化、教育で心豊かな暮らしを実現する	市長公約	・AI(人工知能)やIoT(様々なモノがインターネットと繋がり便利になる)、ICT(情報通信技術)などを活用した学習環境の整備に努めます。	
			款	9	教育費		まちづくり戦略	(3)	夢と誇りとやさしさにあふれる人の育み			
			項	3	中学校費		根拠計画		教育基本振興計画、過疎地域持続的発展計画			
			目	2	教育振興費							
担当課	教育委員会事務局 学校教育課	内線	2358									

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒の学習意欲の向上と学力の定着を図る。</li> <li>情報教育により情報化社会に対応した情報通信機器を活用できる力の習得や規範意識の向上を図る。</li> <li>中学校教育機器の充実</li> </ul>	概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報通信関連機器などの教具・教材を整備する。</li> <li>学校内で使用する教材備品の購入</li> </ul>
----	---	----	---

総合計画等 主な指標	R2実績	R3実績	R6目標
「国語の授業の内容はよく分かりますか」で分かると回答した児童生徒の割合	79.9%		♪

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R2		R3			
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		240,000	185,529	124,180	124,180	123,353	△ 62,176
特定財源	国費(情報通信環境整備事業補助金 1/2)	150	49,329	0	0	1,781	△ 47,548
	県費						
	その他(飛騨高山ふるさと基金繰入金、夢・まちづくり基金繰入金)		300	74,400	74,400	79,400	79,100
一般財源		239,850	135,900	49,780	49,780	42,172	△ 93,728
個票枝番	主な事業内容						
	中学校教育機器整備事業費	25,930	24,415	34,340	33,388	32,800	8,385
	教育系情報ネットワークのセキュリティ強化	11,810	11,808	11,810	11,810	11,808	0
	電子黒板・デジタル教科書の配置	14,550	11,958	22,890	22,890	22,663	10,705
	教材費	15,400	15,432	15,100	16,052	16,052	620
◎ 1	1人1台タブレットの活用、貸出用ルーター通信使用料等	14,100	2,303	40,040	40,040	40,030	37,727
	学校情報通信ネットワーク環境整備工事	147,000	108,401				△ 108,401
	丁合等機能付き事務機器の導入						

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和4年度予算編成(Action)

R4予算		実施計画額		100,600
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
120,421	122,500	122,500	△ 1,680	
	85,170	85,170	10,770	
120,421	37,330	37,330	△ 12,450	
査定額	説明			
30,650				
11,810				
23,360				
15,100				
41,580				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和2年度事業実績・評価等(Check) R3.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>GIGAスクール構想による校内LAN整備工事、電源キャビネット整備工事 12校(通常学級教室、体育館でWiFi接続を利用できる環境の整備)</li> <li>GIGAスクール構想による1人1台端末の導入 2,335台</li> <li>普通教室・少人数教室・理科室への電子黒板を用いた教師用デジタル教科書の導入 12校</li> </ul>	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R2完了 <input type="checkbox"/> R3完了予定
評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>GIGAスクール構想による環境整備工事及び1人1台端末の導入が完了したことにより、令和3年度からの1人1台端末の使用が可能となった。</li> <li>電子黒板、教師用デジタル教科書を活用することによって、様々なコンテンツを利用した授業を行うことができ、主体的に学習に向かう生徒が増えた。</li> </ul>	
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>電子黒板の全学級配置(少人数学級の増加分、特別支援学級を含む)を図る。</li> <li>理科室、音楽室などの特別教室を含む校舎内全域でWiFi接続を利用できるような環境整備を図る。</li> <li>教職員用の授業づくり用1人1台端末の配置を図る。</li> <li>教育情報セキュリティポリシーを見直し、GIGAスクール構想によるICT利活用の推進とともに、生徒・教職員の情報セキュリティに対する意識向上を図る。</li> </ul>	

5.令和3年度事業実績・評価等(Check) R4.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>GIGAスクール構想により整備・導入した校内LAN、電源キャビネット、1人1台端末の運用</li> <li>GIGAスクール構想によるモバイルルーターの導入 全300台</li> <li>普通教室・少人数教室・理科室への電子黒板を用いた教師用デジタル教科書の運用</li> </ul>	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R3完了 <input type="checkbox"/> R4完了予定
評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>GIGAスクール構想により整備・導入した環境・機器の運用が始まり、1人1台端末を利用して様々な教育活動に工夫して取り組むことができた。</li> <li>電子黒板と教師用デジタル教科書を活用することによって、様々なコンテンツを利用した授業を行うことができ、主体的に学習に向かう生徒が増えた。</li> </ul>	
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>電子黒板の全学級配置(少人数学級の増加分、特別支援学級を含む)を図る。</li> <li>校舎内全域でWi-Fi接続を安定して利用できるような環境整備を図る。</li> <li>教職員用の授業づくり用1人1台端末の配置を図る。</li> <li>教育情報セキュリティポリシーを見直し、GIGAスクール構想によるICT利活用の推進とともに、生徒・教職員の情報セキュリティに対する意識向上を図る。</li> </ul>	

担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校教材の購入に必要な経費を計上</li> <li>教育系ICT機器等の導入、維持管理に必要な経費を計上</li> </ul>
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>デジタル教科書、ネットワーク管理システム、貸出用ルーター通信使用料について、事業課とのヒアリングに基づき必要な金額を追加</li> </ul>
市長査定 の考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>財務部査定のとおり</li> </ul>

主要事業個票(令和3年度決算)

事業名	93220 中学校教育機器整備事業費	区分	<input type="checkbox"/> R2新規	<input type="checkbox"/> R3新規	予算	会計	1	一般会計	担当課	学校教育課
枝番・内容	1 1人1台タブレットの活用		<input type="checkbox"/> R2拡充	<input checked="" type="checkbox"/> R3拡充		款	9	教育費		
		<input type="checkbox"/> その他重要事業		項		3	中学校費	内線	2358	
		<input type="checkbox"/>		目		2	教育振興費	作成年月	R2.11	

事業の目的・概要(Plan)

目的	・生徒の学習意欲の向上と学力の定着を図る。 ・「公正に個別最適化された学び」を実現するため、生徒1人1台タブレットの授業等での活用を図る。	概要	・アプリやデジタル教材等を使った学習の実施
----	--	----	-----------------------

[参考] R2決算(Do・Check) R3.8時点 (千円)

予算額	当初	
	繰越	
	補正等	
	最終	
決算額		
対前年度増減額(決算)		

[参考] R3当初予算(Action) R3.3時点 (千円)

予算額	当初	40,040
主な経費	・1人1台タブレットにかかるリース料	
	対前年度増減額(当初予算)	

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

R3決算(Do・Check) R4.8時点 (千円)

予算額	当初	40,040
	繰越	
	補正等	
	最終	40,040
決算額		36,245
対前年度増減額(決算)		36,245

R4予算査定(Action) (千円)

予算額	当初	40,040
主な経費	・1人1台タブレットにかかるリース料	
	対前年度増減額(当初予算)	

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績、評価等	
[事業実績]	
[評価等]	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R2完了 <input type="checkbox"/> R3完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	・生徒1人1台タブレットを活用した授業等の実施
[スケジュール]	4月～ 1人1台タブレットを活用した授業等を実施

事業実績、評価等	
[事業実績]	<ul style="list-style-type: none"> <li>GIGAスクール構想により整備・導入した校内LAN、電源キャビネット、1人1台端末の運用</li> <li>普通教室・少人数教室・理科室への電子黒板を用いた教師用デジタル教科書の運用</li> </ul>
[評価等]	<ul style="list-style-type: none"> <li>GIGAスクール構想により整備・導入した環境・機器の運用が始まり、1人1台端末を利用して様々な教育活動に工夫して取り組むことができた。</li> <li>電子黒板と教師用デジタル教科書を活用することによって、様々なコンテンツを利用した授業を行うことができ、主体的に学習に向かう児童が増えた。</li> </ul>
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R3完了 <input type="checkbox"/> R4完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒1人1台タブレットを活用した授業等の実施</li> <li>電子黒板と教師用デジタル教科書を活用した授業の実施</li> </ul>
[スケジュール]	4月～ 1人1台タブレット、教師用デジタル教科書を活用した授業等を実施

事業シート(令和3年度決算)

事業名	93230 中学校図書教育推進事業費	予算	会計	1	一般会計	総会計画	まちづくりの方向性	2	心身の健康と文化、教育で心豊かな暮らしを実現する	市長公約	
			款	9	教育費		まちづくり戦略	(3)	夢と誇りとやさしさにあふれる人の育み		
			項	3	中学校費		根拠計画				教育基本振興計画、過疎地域持続的発展計画
			目	2	教育振興費						
担当課	教育委員会事務局 学校教育課	内線	2358								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全中学校の図書館の蔵書について文部科学省基準を上回る図書内容を整備し、分野別でも基準を満たす。</li> <li>・読書に親しめる環境づくりを進めるとともに、学習・情報センターとして活用できる学校図書館にする。</li> <li>・新たに子どもの居場所づくりの場所としての空間づくりを進める。</li> </ul>	概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校図書館の管理・運営を行う。</li> <li>・分野ごとにバランスの取れた選書による図書購入を行う。</li> </ul>
----	---	----	---

総合計画等 主な指標	R2実績	R3実績	R6目標

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	R2			R3			
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)	
	37,480	37,397	37,480	37,480	37,397	0	
特定財源							
国費( )							
県費( )							
その他( 飛騨高山ふるさと基金繰入金 )	300	300				△ 300	
一般財源	37,180	37,097	37,480	37,480	37,397		
個票枝番	主な事業内容						
	図書館指導員の配置	23,300	23,232	23,300	23,300	23,232	0
	中学校図書教育推進事業費	380	366	380	380	366	0
	図書購入費	13,800	13,799	13,800	13,800	13,799	0

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和4年度予算編成(Action)

(千円)

R4予算		実施計画額		37,300
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
38,096	37,280	37,280	△ 200	
査定額	説明			
23,300				
380				
13,600				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和2年度事業実績・評価等(Check) R3.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館指導員の全校配置</li> <li>・中学校図書購入冊数 6,805冊</li> </ul>
評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習センター・情報センターとして学校図書館が機能していくように、教科との連携を図り、児童により必要な蔵書の充実を図った。</li> <li>・調べ学習や学習に活用している百科事典の改訂に対応できるよう、各学校で購入・配置した。</li> </ul>
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習、情報センターとして活用できる学校図書館となるよう、また、子どもの居場所づくりのために学校図書館の効果的な活用についての研修、実践を強化する。</li> </ul>
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R2完了 <input type="checkbox"/> R3完了予定

5.令和3年度事業実績・評価等(Check) R4.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館指導員の全校配置</li> <li>・中学校図書購入冊数 6,645冊</li> </ul>
評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習センター・情報センターとして学校図書館が機能していくように、教科との連携を図り、児童により必要な蔵書の充実を図った。</li> <li>・調べ学習や学習に活用している百科事典の改訂に対応できるよう、各学校で購入・配置した。</li> </ul>
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習、情報センターとして活用できる学校図書館となるよう、また、子どもの居場所づくりのために学校図書館の効果的な活用についての研修、実践を強化する。</li> </ul>
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R2完了 <input type="checkbox"/> R3完了予定

担当課 予算要求 ポイント	・学校図書館の図書更新等に必要経費を計上
---------------------	----------------------

財務部 査定の 考え方	積算内容を精査
-------------------	---------

市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり
--------------	------------

事業シート(令和3年度決算)

事業名	93240 中学校要保護及び準要保護等生徒援助事業費	予算	会計	1	一般会計	総会計画	まちづくりの方向性	2	心身の健康と文化、教育で心豊かな暮らしを実現する	市長公約
			款	9	教育費		まちづくり戦略	(2)	安心して子育てができる環境の充実	
			項	3	中学校費		根拠計画		教育基本振興計画、過疎地域持続的発展計画	
			目	2	教育振興費					
担当課	教育委員会事務局 学校教育課	内線	2358							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経済的理由のため就学困難と認められる生徒の就学を援助する。</li> <li>・特別支援学級等に在籍する生徒の就学を奨励する。</li> </ul>	概要	・保護者の収入等に応じて、必要な学用品費等や学校給食費の全部または一部を援助する。
----	--	----	---

総合計画等 主な指標	R2実績	R3実績	R6目標

2.事業の実施結果等(Do)

		R2		R3			
歳出事業費 (職員人件費を除く)		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		21,500	15,523	26,700	26,700	18,336	2,813
特定財源	国費(特別支援教育就学奨励費 1/2)	2,250	1,099	2,750	2,750	1,683	584
	県費(岐阜県清流の国ぎふ推進補助金 1/2)						
	その他						
一般財源		19,250	14,424	23,950	23,950	16,653	2,229
個票枝番	主な事業内容						
	要保護及び準要保護生徒就学援助費	13,000	8,844	16,000	16,000	10,385	1,541
	要保護及び準要保護生徒給食費	4,000	4,419	5,200	5,200	4,636	217
	特別支援教育就学奨励費	4,500	2,259	5,500	5,500	3,315	1,056

4.令和4年度予算編成(Action)

R4予算		実施計画額		21,300
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
23,500	23,500	23,500	△ 3,200	
2,750	2,750	2,750	0	
20,750	20,750	20,750	△ 3,200	
査定額	説明			
13,000				
5,000				
5,500				

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和2年度事業実績、評価等(Check) R3.8実施

事業実績	・要保護・準要保護等生徒援助費 165人
評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の学用品の一部や給食費(コロナによる休校期間中を含む)などを実費支給し、児童扶養手当などによる支援と併せて安心して就学できる環境を整えることができた。</li> <li>・新入学用品費等について入学前の支給を実施し、対象生徒の保護者の負担軽減を図ることができた。</li> </ul>
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国の制度改正の動向等を把握しながら、必要な援助、学校給食費の全部または一部を支給する。</li> </ul>
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R2完了 <input type="checkbox"/> R3完了予定

5.令和3年度事業実績、評価等(Check) R4.8実施

事業実績	・要保護・準要保護等生徒援助費 197人
評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の学用品の一部や給食費(コロナによる休校期間中を含む)などを実費支給し、児童扶養手当などによる支援と併せて安心して就学できる環境を整えることができた。</li> <li>・新入学用品費等について入学前の支給を実施し、対象生徒の保護者の負担軽減を図ることができた。</li> </ul>
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国の制度改正の動向等を把握しながら、必要な援助、学校給食費の全部または一部を支給する。</li> </ul>
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R3完了 <input type="checkbox"/> R4完了予定

担当課 予算要求 ポイント	・経済的理由のために就学困難な学齢生徒への学用品費等の支給に必要な経費を計上
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	要求どおり
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(令和3年度決算)

事業名	93290 中学校部活動支援事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	2	心身の健康と文化、教育で心豊かな暮らしを実現する	市長公約	・義務教育における給食費の軽減やクラブ活動遠征費などの学校生活に関わる費用への支援を行います。
			款	9	教育費		まちづくり戦略	(3)	夢と誇りとやさしさにあふれる人の育み		
			項	3	中学校費		根拠計画		教育基本振興計画、過疎地域持続的発展計画		
			目	2	教育振興費						
担当課	教育委員会事務局 学校教育課	内線	2358								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・部活動大会派遣等に要する経費の助成により、生徒の心身の健全育成を図る。	概要	・部活動やクラブにおいて各種大会へ派遣される生徒、教員等の経費の1/2を補助する。
----	--------------------------------------	----	---

総合計画等 主な指標	R2実績	R3実績	R6目標

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R2		R3			
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		11,800	2,319	11,800	11,800	5,801	3,482
特定財源	国費( )						
	県費( )						
	その他( )						
一般財源		11,800	2,319	11,800	11,800	5,801	3,482
個票枝番	主な事業内容						
	中学校部活動に対する支援	1,800	1,695	1,800	1,800	1,665	△ 30
	各種大会派遣に対する支援	10,000	624	10,000	10,000	4,136	3,512

4.令和4年度予算編成(Action)

R4予算		実施計画額		11,800
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
11,240	10,740	10,740	△ 1,060	
11,240	10,740	10,740	△ 1,060	
査定額	説明			
1,740				
9,000				

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和2年度事業実績、評価等(Check) R3.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>部活動指導員配置促進事業 14名の部活動指導員を9校の中学校に配置 14名の指導員で1,853時間の勤務(一人あたり132時間勤務) 指導員配置の部活動顧問の時間外勤務が1,386.5時間削減(一人あたり60時間削減)</li> <li>各種大会派遣補助金 県大会出場 20件 東海大会出場 0件 全国大会出場 5件</li> </ul>	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R2完了 <input type="checkbox"/> R3完了予定
評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>部活動指導員配置によってより専門的な指導が可能となり、部活動指導の充実が図れた。また、顧問の時間外勤務の負担軽減につながった。</li> <li>部活動に対して、一律15,000円の公平かつ効果的な支援が出来た。</li> <li>新型コロナウイルス感染症により、中体連等の各種大会が中止となり、R2年度に限り代替大会等も補助対象とし、保護者の負担軽減を図った。</li> </ul>	
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>部活動に対して、公平かつ効果的な支援をする。</li> <li>部活動指導員を有効に活用する。</li> <li>部活動及びクラブ活動に対する大会派遣の支援を行う。</li> </ul>	

5.令和3年度事業実績、評価等(Check) R4.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>部活動指導員配置促進事業 19名の部活動指導員を10校の中学校に配置 19名の指導員で3,001時間の勤務(一人あたり約158時間勤務) 指導員配置の部活動顧問の時間外勤務が2,052時間削減(一人あたり約62時間削減)</li> <li>各種大会派遣補助金 県大会出場 70件 東海大会出場 18件 全国大会出場 6件</li> </ul>	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R3完了 <input type="checkbox"/> R4完了予定
評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>部活動指導員配置によってより専門的な指導が可能となり、部活動指導の充実が図れた。また、顧問の時間外勤務の負担軽減につながった。</li> <li>部活動に対して、一律15,000円の公平かつ効果的な支援が出来た。</li> <li>新型コロナウイルス感染症により、中体連等の各種大会が中止となり、R2年度に限り代替大会等も補助対象とし、保護者の負担軽減を図った。</li> </ul>	
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>部活動に対して、公平かつ効果的な支援をする。</li> <li>部活動及びクラブ活動に対する大会派遣の支援を行う。</li> <li>休日の部活動の地域移行の視点からも部活動指導員を有効に活用する。</li> </ul>	

担当課 予算要求 ポイント	・部活動及びクラブ活動の大会派遣等に対する支援に必要な経費を計上
---------------------	----------------------------------

財務部 査定の 考え方	積算内容を精査
-------------------	---------

市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに
--------------	-------------

事業シート(令和3年度決算)

事業名	93260 中学校郷土教育推進事業費	予算	会計	1	一般会計	総会計画	まちづくりの方向性	2	心身の健康と文化、教育で心豊かな暮らしを実現する	市長公約	・児童・生徒の一人ひとりの「個性・能力・創造性」を育むとともに、国際化に対応できる教育、地域や地場産業を学び・体験する教育(郷土への誇り・愛着の醸成)などを充実します。	
			款	9	教育費		まちづくり戦略	(3)	夢と誇りとやさしさにあふれる人の育み			
			項	3	中学校費		根拠計画画		教育基本振興計画、過疎地域持続的発展計画			
			目	2	教育振興費							
担当課	教育委員会事務局 学校教育課	内線	2358									

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>各学校、地域の特色を活かした学校経営を行い、豊かな教育環境を創出する。</li> <li>地域の方々から、総合的な学習の時間・クラブ活動・進路講話・外国語指導等を受け、豊かな学習活動を展開しながら、様々な方面の事柄に興味関心を持たせ、生きる力の礎を築く。</li> </ul>	概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>各学校における特色ある学校経営を支援する。</li> <li>各学校で、その地域の特色ある講師や、生徒が興味関心をもてる講師を選定し、様々な学習活動を行う。</li> </ul>
----	---	----	--

総会計画等 主な指標	R2実績	R3実績	R6目標
今住んでいる地域の行事に参加している生徒の割合	61.4%	72.8%	100%
将来の夢や目標を持っている生徒の割合	68.5%	74.7%	100%
「学校・家庭・地域が連携した児童生徒の教育環境が整っている」と感じている市民の割合	67.5%	65.6%	↗

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R2		R3			
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		5,610	3,625	5,610	5,610	3,872	247
特定財源	国費( )						
	県費( )						
	その他( )						
一般財源		5,610	3,625	5,610	5,610	3,872	247
個票枝番	主な事業内容						
	特色ある学校経営の推進	3,200	2,078	3,200	3,200	2,469	391
	子どもの個性・能力・創造性を伸ばすキャリア教育の推進	200		200	200	75	75
	外部講師活用事業	1,800	1,168	1,800	1,800	1,052	△ 116

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和4年度予算編成(Action)

R4予算		実施計画額		5,600
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
5,402	5,390	5,390	△ 220	
5,402	5,390	5,390	△ 220	
査定額	説明			
3,200	特色ある学校経営推進協議会補助金			
1,800				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和2年度事業実績・評価等(Check) R3.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>12校で延べ61名の講師を活用 584時間</li> <li>EST未来塾(プログラミング講座)は新型コロナウイルス感染症拡大のため中止。</li> <li>特色ある学校経営推進事業 均等交付事業 12校で11件実施(うち7件を縮小)、認定交付事業 9校で8件実施(うち4件で事業を縮小) ※新型コロナ感染症拡大により縮小</li> </ul>
評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>芸能、スポーツ等の専門的な分野に長けた講師による授業で、生徒が普段はできない学びができ、知識や技能の向上につながった。</li> <li>各校に均等に交付された補助金を利用して、特色ある教育活動を展開し、郷土を知り、郷土に愛着を感じる活動を行うことで、主体的で深い学びを推進する機会を設けることが出来た。</li> <li>新型コロナウイルス感染症の拡大に伴って、中止・縮小せざるを得ない事業もあったが、各中学校で活動を工夫することによって、地域や世界とつながる活動を実施することができた。</li> </ul>
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>特色ある教育活動は、生徒に生きる力を育むとともに郷土教育の推進や地域との連携に成果をあげており、なくてはならない貴重な事業である。各校で特色ある活動を企画したり、地域の活性化につなげたりして工夫し、一層の推進を図る。</li> </ul>
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R2完了 <input type="checkbox"/> R3完了予定

5.令和3年度事業実績・評価等(Check) R4.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>12校で延べ約70名の講師を活用 529時間</li> <li>EST未来塾(プログラミング講座)を1回実施。7名参加。</li> </ul>
評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>芸能、スポーツ等の専門的な分野に長けた講師による授業で、生徒が普段はできない学びができ、知識や技能の向上につながった。</li> <li>各校に均等に交付された補助金を利用して、特色ある教育活動を展開し、郷土を知り、郷土に愛着を感じる活動を行うことで、主体的で深い学びを推進する機会を設けることが出来た。</li> <li>新型コロナウイルス感染症の拡大に伴って、中止・縮小せざるを得ない事業もあったが、各中学校で活動を工夫することによって、地域や世界とつながる活動を実施することができた。</li> </ul>
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>特色ある教育活動は、生徒に生きる力を育むとともに郷土教育の推進や地域との連携に成果をあげており、なくてはならない貴重な事業である。各校で特色ある活動を企画したり、地域の活性化につなげたりして工夫し、一層の推進を図る。</li> </ul>
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R3完了 <input type="checkbox"/> R4完了予定

担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>各学校の特色ある学校経営を支援するために必要な経費を計上</li> </ul>
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	積算内容を精査
-------------------	---------

市長査定 の考え方	財務部査定のとおりに
--------------	------------